

イベント情報やスケジュールを大画面で見やすく発信 屋外に設置できる防水筐体で、雨天時も運用可能



導入先

株式会社横浜アリーナさま

- 神奈川県横浜市
- 1986年設立。1989年オープンの大規模多目的ホール「横浜アリーナ」(最大収容人員約17,000人、延床面積45,000㎡)を管理・運営される。2016年にリニューアル工事を実施。



導入商品

インフォメーションディスプレイ

- PN-A601 (60V型)×2台、PN-Y425 (42V型)×6台
e-Signage(コンテンツ配信表示システム) スタンドアロン版
- 2016年7月運用開始。60V型は、同ホールのエントランス前に屋外筐体に60V型を格納して設置。42V型はロビー内フードコーナーに設置。
- 販売：ヒビノ株式会社さま

こんなソリューションを実現しました。

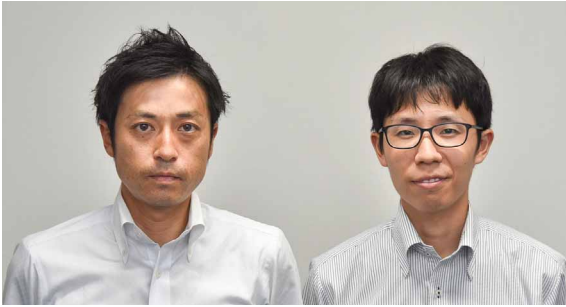
導入前の課題

開業から年数が経過し、機械設備の更新と利便性向上を図るリニューアル工事を実施。その一環として、これまで公演ポスターの掲出やスケジュール周知に使っていた屋外掲示板を一新し、より訴求力が高く、多くの情報を効率よく発信できるツールの導入を検討しました。

デジタルサイネージでイベント情報やスケジュール、ホールからのお知らせなど多くの情報をスマートに発信。

大画面かつ高輝度なので日中でも視認性が高く、防水筐体で雨天時も安心して運用できます。

動きのあるポスター映像で来場者の注目を集め、公演への期待感を高められます。



株式会社横浜アリーナ

営業部営業第三課係長 兼
広報担当係長
大井修司さま

総務部総務課主事 兼
営業部広報担当
北村雅之さま

■ 導入の背景

**訴求力の高いデジタルサイネージの導入で、
情報発信力をより一層強化したい。**

当ホールは開業から年数が経過したことで、館内の各種機械設備の更新と、さらなる利便性の向上を図るべくリニューアル工事を実施することになりました。その一環として、情報発信力の強化を目指し、これまで各公演のポスターや、主に周辺地域の皆さまにお知らせしてきたイベントスケジュールなどを掲出していた屋外掲示板を一新し、より訴求力が高く、多くの情報をすっきりと表示できるデジタルサイネージを導入しようと考えました。

■ 選ばれた理由

**屋外でも見やすい大画面・高輝度ディスプレイ。
雨天時でも運用できる防水筐体も高く評価。**

これまで掲示板のあった屋外にディスプレイを設置するため、日中でも明るく見やすいことが必須であったところ、シャープのディスプレイは大画面かつ高輝度で視認性が高い点が最適でした。また豊富な事例から耐久性も実績十分で、午前7時から午後11時までの長時間運用が可能であるのに加えて、セット提案いただいた防水筐体で雨天時も安心。さらにコンテンツ配信表示システムe-Signageによる簡単な操作で、自由に表示内容を切り替えられる点も高く評価しました。

■ 導入後の効果

**公演のポスター映像で来場者の高揚感をアップ。
主催者も公演情報を動画で発信可能に。**

ホールのエントランス前に設置し、各公演のポスター映像や公演スケジュール、また当ホールのオリジナルキャラクターのグッズ紹介などのお知らせや、熱中症予防の注意喚起など、多くの情報をサイネージでスマートに発信しています。来場客がサイネージに映るイベントの映像を見て期待感を高められたり、サイネージの前で記念撮影される様子が見られるなど、来場客の満足度アップにつながられています。また公演主催者からも、より訴求力の高い動画で情報を発信できるようになり、一層の集客増につながられると評価いただいています。

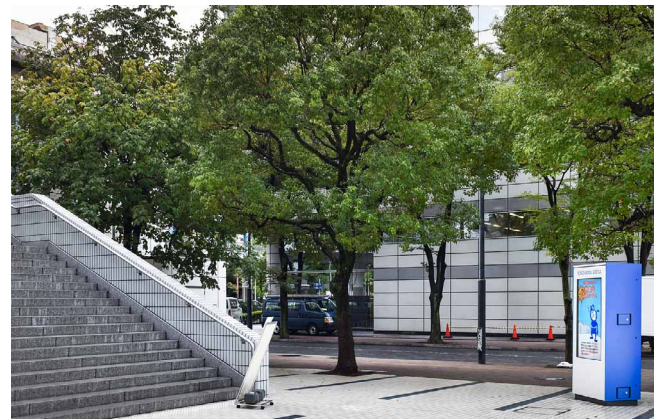
■ 今後の展望

**ロビーのフードコーナーもデジタルサイネージ化。
今後はスポンサー広告掲出の仕組みも検討。**

今回のリニューアル工事では、屋外だけでなくロビーのフードコーナーにもデジタルサイネージを導入しました。豊富なメニューを写真付きのライドショーで見やすく表示でき好評です。今後は、館内のスポンサー広告のサイネージ化なども含め、さらなる情報発信力強化を検討していきたいと考えています。



防水筐体に格納し、2台のディスプレイを背中合わせに設置



最寄駅からの来場客が多く通る歩道橋の階段下で情報発信



ロビーのフードコーナーでは42V型サイネージでメニューをご紹介